

氏名	伊 野 英 男
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第1655号
学位授与の日付	平成9年3月31日
学位授与の要件	医学研究科病理系病理学(二)専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Analysis of the genome of an Epstein-Barr-virus(EBV)- related herpesvirus in a cynomolgus monkey cell line (Si-IIA) (カニクイザル白血球株(Si-IIA)内に存在するEpstein- Barr-virus(EBV)に関連するヘルペスウイルスのDNA解析)
論文審査委員	教授 山田 雅夫 教授 岡田 茂 教授 清水 憲二

### 学位論文内容の要旨

カニクイザル白血球株(Si-IIA)はEBV関連ヘルペスウイルス(Si-IIA-EBV)を産生し、静脈内投与によってウサギに悪性リンパ腫を発生する。今回我々は、PCR法、Southern blotting及びPCR産物のdirect sequenceによってSi-IIA-EBVゲノムとEBV(B95-8)及びサルエイズウイルス感染により免疫抑制をきたしたサルに発生するBリンパ腫に関連する*Macaca fascicularis* (HVMF-1)のゲノムとの比較検討を行った。Ws/Was-3(IR1領域)、No.2(IR1領域)及びNo.11(BRRF1領域)の3組のプライマーペアを用いたSi-IIA-EBVゲノムのPCR産物は、EBVゲノムとそれぞれ81.6%、82.8%、82.8%のヌクレオチドホモロジーを示し、HVMF-1ゲノムとはWs/Was-3を用いたPCR産物は92.4%のヌクレオチドホモロジーを示した。これらのことよりSi-IIA-EBVはEBVの一部と類似した構造を有するがEBVとは異なるウイルスであること、HVMF1はSi-IIA-EBVのvariantの一つである可能性があることが示唆された。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

### 論文審査結果の要旨

本研究は、ウサギにリンパ腫を形成するヘルペスウイルス(SiIIA-EBV)のゲノムを解析し、ヒトのEpstein-Barrウイルス(EBV)、および免疫抑制状態のサルに発症するリンパ腫と関連するヘルペスウイルス(HVMF-1)のゲノムと比較した研究である。その結果、SiIIA-EBVはEBVとは一部類似性を持つが異なるウイルスで、HVMF-1はSiIIA-EBVの変異株の一つである可能性が示された。ウサギに高率にリンパ腫を形成するという、特徴的なヘルペスウイルス(SiIIA-EBV)の性状について、重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって本研究者は、博士(医学)の学位を得る資格があると認める。